



臨床病理検討会 (CPC) 開催報告

1 年次研修医 成田茂樹



コロナウイルスの第5波が落ち着き、幾らか息苦しさも和らいできたと感じた令和3年師走。そのような中、12月6日に、今年度2回目の臨床病理検討会(CPC)が開催されました。今回も、ご多忙にもかかわらず東北大学大学院 医学系研究科 病理診断学分野 教授 笹野公伸

先生にお越しいただき、剖検所見や病理診断についてご解説を賜りましたので、ご報告させていただきます。

今回の症例は、壊疽性胆嚢炎疑いで当院に搬送後、数時間のうちに急激な全身状態悪化のためお亡くなりになった症例でした。今回の経過に対し、検査データや画像所見などからいくつかの推察は可能ではあるものの、特定は困難でした。しかしながら、笹野先生の剖検所見や病理所見では、それぞれの臓器におけるマクロとミクロの観点から、非常に明確かつ的確に様々な疑問点を解決し、病態について理解することができました。いかに病理診断が臨床的にも重要であるかということを再認識いたしました。

CPC はご遺族の方をはじめ、担当医や病理医、検査技師といった多岐にわたる方々のご協力のもと成り立っています。私たちの知識の向上は「人の命」の上に成り立っているものであるという感謝の気持ちを忘れずに、これからも日々精進していきたいと思えます。最後になりますが、改めて患者様のご冥福をお祈りいたします。



「第44回お医者さんと話そう」

地域医療連携部 田中裕之

11月25日(木)、コミュニティーカフェ「ハピたのかふえ」にて「第44回お医者さんと話そう」(主催:十和田NPO法人子どもセンターハピたの/協力:十和田市在宅医療介護連携推進事業)が開催されました。ハイブリットで来場(20名)+ZOOMの開催となり、今回は弘前大学医学生が運営するカフェ「医café SUP?」ともオンラインで繋がりました。講師は当院総合内科の外崎奏汰先生が務め、「死に方と生き方を考える」と題して終末期と緩和医療について講演しました。



お知らせ

十和田観光電鉄バス「十和田市～みちのく有料～青森線」が、利便性向上のため、以下の期間限定で「中央病院」バス停に停まります。(実証運行期間:令和3年12月1日～令和4年2月28日)
《注意》大型車両での運行のため、緊急車両の停車等で病院構内停留所に入れない場合、病院前の「駒街道(官庁街通り)」上での乗降となります。

行き先	時刻	行き先	時刻
七戸十和田駅経由 新青森駅 行き	9:55 17:55	十和田市中央・三高前経由 三本木営業所 行き	9:55 17:55

運行に関するお問い合わせは
十和田観光電鉄(株)三本木営業所
☎ 0176-23-3133 まで





医療介護事業者向け感染対策研修会

地域医療連携部 田中裕之



11月1日(月)、医療介護事業者向けの感染対策研修会を開催いたしました。当院感染管理認定看護師の藤井師長を講師に市内医療機関、介護事業所に対して感染予防に関する情報提供や、適切な防護具の脱着について実習を行いました。今後も当院では、地域の医療介護事業者の感染対策の一助となるよう積極的に研修会の案内を行ってまいります。



特別研修会「地域と生きる！人と街と病院経営」開催

事務局長 中谷慎志

～人生100年時代に“働きたい！”病院になろう～



12月17日(金)株式会社メディカルクリエイト、シニアコンサルタントである石井富美氏による特別研修会が開催され、当院職員に加え近隣病院の経営管理担当職員が参加しました。



病院経営管理の基本的な考え方と他病院の事例紹介、人生100年時代のダイバーシティコミュニケーション、地域包括ケアシステムの中での病院の役割など、90分間ユーモアを交えた語り口で、将来を見据えた病院の在り方、今できることやるべきことの認識を新たに素晴らしい機会を与えていただきました。



さわらびキッズルーム防犯訓練

さわらびキッズルーム 柴崎 晴香

12月15日(水)、さわらびキッズルーム防犯訓練を行いました。職員が犯人役になり、保育室で遊んでいる時に不審者が来たことを想定して防犯訓練を行いました。全員無事に避難することができました。年齢にあった避難の方法・避難経路の確認

をするなど、毎年職員会議で話し合い、安全に避難できるように配慮しております。いつでも気持ちを引き締め何かあった時にも落ち着いて対応できるようにしていきたいと思っております。



外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>